

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7



トランスミッターを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

準備する

[各部の名前](#)

接続する

[トランスミッターとテレビを接続する](#)

[トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する](#)

[BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

テレビの音を聞く

[ソニー製ヘッドホンでテレビの音を立体音響で楽しむ](#)

[立体音響を終了するには（使い終わるには）](#)

[ヘッドホン*でテレビの音を聞く](#)

お知らせ

[トランスミッターのランプ表示](#)

ご注意

- └ [使用上のご注意](#)
- └ [BLUETOOTH無線技術について](#)
- └ [第三者が提供するサービスに関する免責事項](#)
- └ [商標について](#)

困ったときは／よくある質問

[故障かな?と思ったら](#)

音（音声）

- └ [音が出ない、片方の音が出ない、音が小さい、音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる](#)

BLUETOOTH接続

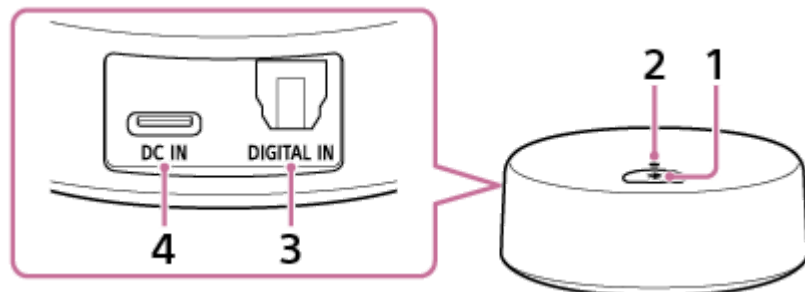
- └ [ペアリング（機器登録）できない](#)


リセット

- └ [トランスミッターを初期化する](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

各部の名前



1.  (BLUETOOTH) ボタン
2. ランプ (オレンジ/青)
電源状態と通信状態をオレンジと青で表示します。
3. DIGITAL IN (光デジタル音声入力) 端子
4. DC IN端子 (USB Type-C[®])

関連項目

- [トランスミッターのランプ表示](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

トランスミッターとテレビを接続する

トランスミッターからBLUETOOTH搭載ヘッドホン*に、テレビの音をワイヤレスで送信するための準備を行います。

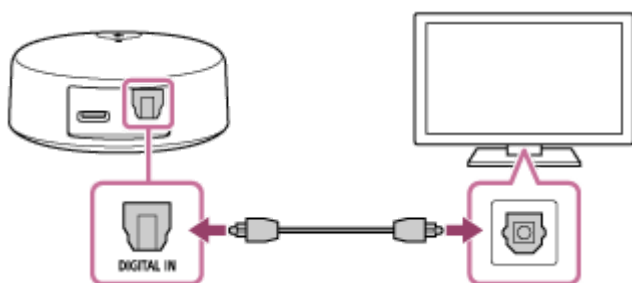
* 接続対応ヘッドホンは360立体音響対応のヘッドホンのみです。

- 1** 付属の光デジタル音声ケーブルでトランスミッターのDIGITAL IN（光デジタル音声入力）端子とテレビの光デジタル音声出力端子をつなぐ。

光デジタル音声ケーブルのプラグ（A）と、テレビとトランスミッターの端子（B）の形状を確認し、正しい向きでプラグを差し込みます。

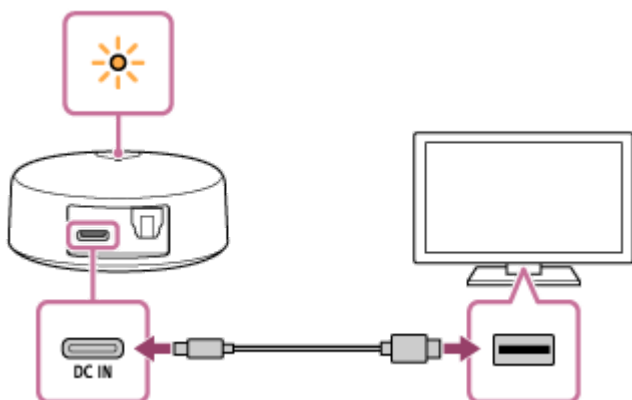
A: 

B: 

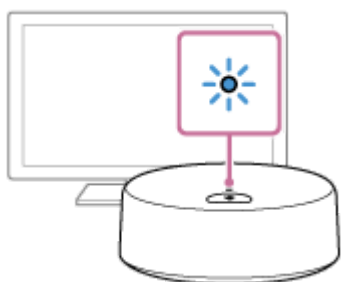


- 2** 付属のUSB Type-C®ケーブルで、トランスミッターのDC IN端子とテレビのUSB端子をつなぐ。

通電時、音声信号がない状態では、ランプ（オレンジ）が点滅します。



お買い上げ後に初めてペアリング（機器登録）するときや、トランスミッターを初期化した後（トランスミッターにペアリング情報がない場合）は、トランスミッターが通電すると自動的にペアリングモードになり、ランプ（青）が2回ずつ点滅します。



ヒント

- お使いのテレビにUSB端子がない場合は、市販のUSB ACアダプターを使用してトランスミッターと電源コンセントを接続してください。

3 テレビの電源を入れ、テレビ側で設定操作をする。

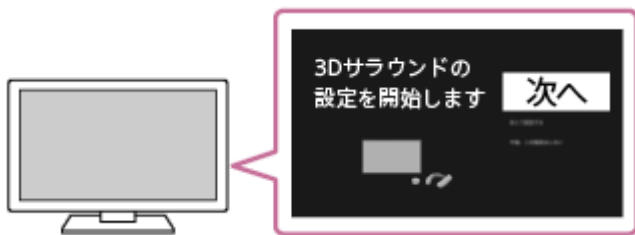
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

BRAVIA XR™をお使いの場合

BRAVIA XRのテレビとソニー製のヘッドホンを組み合わせることで、テレビの音を立体音響で楽しむことができます。テレビ画面の指示に従って3Dサラウンド設定を行ってください。

対象のテレビとソニー製のヘッドホンについて詳しくは、下記のURLをご覧ください。

https://www.sony.net/tr_comp_tvhp

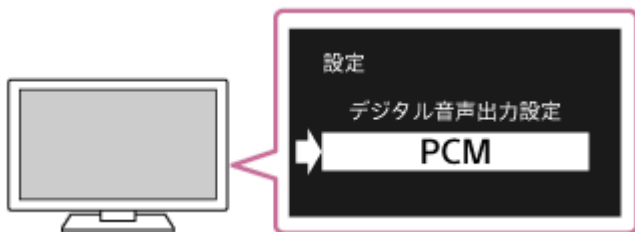


ヒント


- BRAVIA XRの3Dサラウンド設定がオン状態であれば、次回からはソニー製のヘッドホンとトランスミッターを接続するだけで、立体音響を楽しむことができます。

その他のテレビをお使いの場合

テレビのデジタル音声出力をPCMに設定してください。



テレビのデジタル音声出力がPCM以外に設定されていると、映画やスポーツ中継番組などで、正しく音が出力されないことがあります。主な設定方法は以下をご覧ください（機種、メーカーにより異なる場合があります）。

テレビのメーカー	設定方法
ソニー	テレビのリモコンで設定を開き、  （設定） - [画面と音声] - [音声出力] - [デジタル（光）音声出力] を [PCM] に設定します。
シャープ、パナソニック、東芝、日立、三菱	テレビのリモコンで設定（メニュー）を開き、[デジタル（光）音声出力（設定）] を [PCM] に設定します。

ヒント

- 音声出力設定が完了すると、トランスミッターのランプがオレンジから青に変わります。

ご注意

- BRAVIA XR以外のテレビでは、立体音響をお楽しみいただけません。

- 立体音響を使用している間は、テレビから音声は出力されません。テレビのリモコンの音量調整操作も無効となっています。
- トランスミッターにBLUETOOTH接続されたヘッドホンの音量を、テレビ側で調整することはできません。
- BRAVIA XR以外のテレビで動画を視聴する場合、映像と音声にズレが発生する場合があります。

関連項目

- [トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する](#)
- [ヘッドホン*でテレビの音を聞く](#)
- [ソニー製ヘッドホンでテレビの音を立体音響で楽しむ](#)
- [立体音響を終了するには（使い終わるには）](#)
- [トランスミッターのランプ表示](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する

* 接続対応ヘッドホンは360立体音響対応のヘッドホンのみです。

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング（機器登録）といいます。
トランスミッターと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

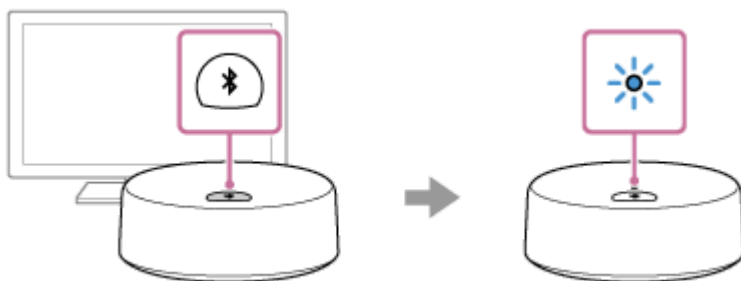
- トランスミッターから1 m以内の距離にBLUETOOTH搭載ヘッドホンを近づける。
- トランスミッターが付属のUSB Type-C®ケーブルを使用して、テレビまたは電源コンセントに接続されている。
- 急に大きな音が出ることを防ぐため、ヘッドホンの音量を小さくする。
- 接続するヘッドホンの取扱説明書を準備する。

ご注意

- テレビを操作してヘッドホンの音量を調整することはできません。音量調整機能がないヘッドホンを使用する場合はご注意ください。

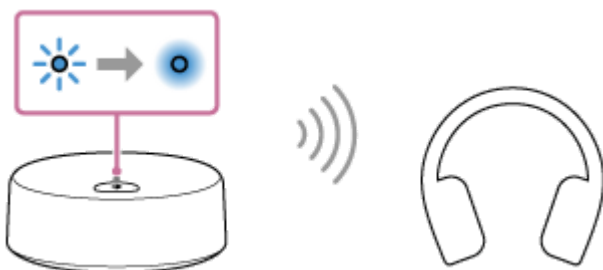
1 トランスミッターの✳（BLUETOOTH）ボタンを約5秒間押し続ける。

ランプ（青）が2回ずつ点滅し、ペアリングモードになります。



2 ヘッドホンにペアリングモードにして、トランスミッターとBLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、トランスミッターのランプ（青）が点滅から点灯に変わります。



接続されない場合は、もう一度手順①から操作してください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- トランスミッターのペアリングモードは約5分で解除され、ランプ（青）が点灯したままになります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、トランスミッターにペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前にトランスミッターのペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 ① から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - － 接続相手の機器から、トランスミッターとのペアリング情報が削除されたとき。
 - － トランスミッターを初期化したとき。
すべてのペアリング情報が消去されます。トランスミッターを初期化すると、ヘッドホンとBLUETOOTH接続できなくなる場合があります。

関連項目

- [トランスミッターとテレビを接続する](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

BLUETOOTH機器を使い終わったら、以下の手順のいずれかを行って、BLUETOOTH接続を切断してください。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- BLUETOOTH機器の電源を切る。

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

ソニー製ヘッドホンでテレビの音を立体音響で楽しむ

BRAVIA XR™のテレビとソニー製のヘッドホンを組み合わせることで、テレビの音を立体音響で楽しむことができ、ドルビーアトモス コンテンツもお楽しみいただけます。

対象のテレビとソニー製のヘッドホンについて詳しくは、下記のURLをご覧ください。

https://www.sony.net/tr_comp_tvhp



① トランスミッターとテレビを接続し、テレビ側で3Dサラウンド設定をする。

② トランスミッターとヘッドホンをBLUETOOTH接続する。

接続が完了すると、音声出力がテレビからヘッドホンに切り替わります。

③ ヘッドホンを装着する。



④ ヘッドホンで音量を調節する。



ヒント

- トランスミッターにBLUETOOTH接続されたヘッドホンの音量を、テレビ側で調整することはできません。
- BRAVIA XRの3Dサラウンド設定がオン状態であれば、次回からはヘッドホンとトランスミッターを接続するだけで、立体音響を楽しむことができます。

ご注意

- 立体音響を使用している間は、テレビから音声は出力されません。テレビのリモコンの音量調整操作も無効となっています。
- トランスミッターと接続している間は、ヘッドホン側で再生コンテンツの一時停止／曲送りなどの操作はできません。

関連項目

- [トランスミッターとテレビを接続する](#)
- [立体音響を終了するには（使い終わるには）](#)

5-030-456-01(2) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

立体音響を終了するには（使い終わるには）

立体音響を使用している間は、テレビから音声は出力されません。

立体音響を終了する場合は、以下の手順のいずれかを行って、3Dサラウンド設定を終了してください。

- ヘッドホンの電源を切る。
- テレビのリモコンのクイック設定ボタンから3Dサラウンド設定をオフにする。
詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 立体音響を終了すると、テレビから音声が出力されます。
- BRAVIA XR™の3Dサラウンド設定がオン状態であれば、次回からはソニー製のヘッドホンとトランスミッターを接続するだけで、立体音響を楽しむことができます。

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

ヘッドホン*でテレビの音を聞く

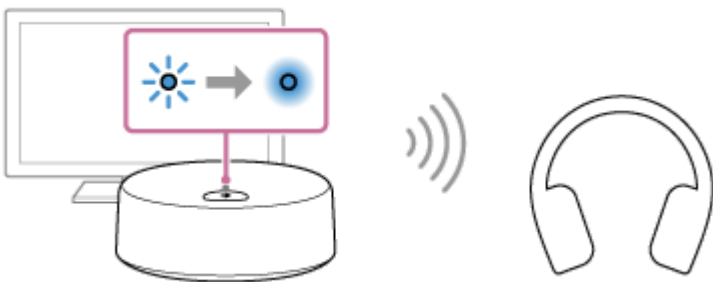
* 接続対応ヘッドホンは360立体音響対応のヘッドホンのみです。

トランスミッターとBLUETOOTH接続したBLUETOOTH搭載ヘッドホンで、テレビの音を聞きます。

① トランスミッターとテレビを接続し、テレビのデジタル音声出力をPCMに設定する。

② ヘッドホンとトランスミッターをBLUETOOTH接続する。

接続が完了すると、テレビとヘッドホンの両方から音声が出力されます。



音が出ない場合は、トランスミッターの  (BLUETOOTH) ボタンを短く1回押してください。

ヒント

- Bluetooth ボタンを押しても音が出ない場合は、トランスミッターが他のBLUETOOTH機器と接続されている可能性があります。その場合は、接続されている機器とのBLUETOOTH接続を切断してから、再度ヘッドホンとペアリング（機器登録）してください。

③ テレビの音を聞く。

ヘッドホンを装着し、ヘッドホンで音量を調節します。



ご注意

- トランスミッターと接続している間は、ヘッドホン側で再生コンテンツの一時停止／曲送りなどの操作はできません。
- テレビを操作してヘッドホンの音量を調整することはできません。音量調整機能がないヘッドホンを使用する場合はご注意ください。
- BRAVIA XR™以外のテレビで動画を視聴する場合、映像と音声にズレが発生する場合があります。

関連項目

- [トランスミッターとテレビを接続する](#)
- [トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する](#)

5-030-456-01(2) Copyright 2021 Sony Corporation

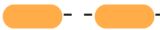


ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

トランスミッターのランプ表示





トランスミッターの動作状態をランプで確認できます。

● : 点灯 (青) / ● : 点灯 (オレンジ) / - : 消灯

通電時

- 音声信号がない状態
 (点滅 (オレンジ) を繰り返す)
- 音声出力設定がPCM以外の状態
 (2回ずつ点滅 (オレンジ) を繰り返す)
- 音声信号がある状態
 (点灯 (青))

BLUETOOTH機能

- ペアリング (機器登録) モード
 (2回ずつ点滅 (青) を繰り返す)
- 接続処理中
 (約1秒間隔で点滅 (青) を30秒間繰り返す)
- 接続完了
 (約5秒間速い点滅 (青) を繰り返す)
- 接続待機 / 接続状態
 (点灯 (青))

その他

初期化完了

 (4回点滅 (青))

詳しくは、「[トランスミッターを初期化する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [各部の名前](#)
- [トランスミッターを初期化する](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

使用上のご注意

安全について

- トランスミッターに付属の「取扱説明書・保証書」をご確認ください。
- 型名 (MODEL) などの重要な情報は、本機の底面に表示してあります。

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。故障の原因になる場合があります。
 - 直射日光の当たる場所、照明器具の下、暖房器具の近くやサウナなど、温度の高い所
 - ほこりの多い所
 - 激しい振動のある所
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、落下などにより、故障・性能劣化の原因になることがあります。
- 設置条件によっては、落下することがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

トランスミッターのお手入れのしかた

- 下記のお手入れをしていただくことにより、より長く快適にご使用いただけます。
 - 表面が汚れたときは乾いた柔らかい布、または水やぬるま湯に浸して固く絞った布で汚れを取りのぞいてください。

その他のご注意

- 表面が汚れたときに、中性洗剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度このヘルプガイドをよく読んでから、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、およそ30 m程度までの距離で通信を行うことができます。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。トランスミッターは下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：BLUETOOTH標準規格Ver. 5.0

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信する。

通信有効範囲

見通し距離で約30 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではトランスミッターおよびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器がトランスミッターと同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応している場合でも、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、相手側BLUETOOTH機器での再生がわずかに遅れます。
- トランスミッターは、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- トランスミッターと接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合している場合でも、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

- トランスミッターと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ラジオやチューナーを内蔵した機器とBLUETOOTH接続すると、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。トランスミッターとこれらの機器をBLUETOOTH接続でお使いいただくことはできません。
- トランスミッターは、ラジオ・チューナーなどの機器から離してお使いください。これらの機器の近くでトランスミッターを使うと、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。

5-030-456-01(2) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

商標について

- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Dolby、Dolby Atmos及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。
- USB Type-C®とUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは／よくある質問」で調べる。
- トランスミッターを初期化する。
すべてのペアリング（機器登録）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。
<https://www.sony.jp/support/active-speaker/>
BLUETOOTHの接続対応機種情報、サポート情報、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

関連項目

- [トランスミッターを初期化する](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

音が出ない、片方の音が出ない、音が小さい、音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる

- BRAVIA XR™では、3Dサラウンド設定がオンの状態ではテレビからは音が出ません。BLUETOOTH搭載ヘッドホンとテレビから音を出したい場合は、3Dサラウンド設定をオフにしてください。
- BRAVIA XR以外のテレビをお使いの場合は、テレビのデジタル音声出力の設定がPCMになっているかご確認ください。設定方法はテレビの取扱説明書をご確認ください。
- テレビとヘッドホンの電源が入っていることを確認してください。
- テレビとトランスミッターを接続し直してください。ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。
- ヘッドホンの音量を確認してください。
- トランスミッターとヘッドホンをもう一度ペアリング（機器登録）してください。
- ヘッドホンによってワイヤレス再生品質を変更できる機器があります。その場合、ワイヤレス再生品質を「接続優先（SBC）」にしてください。詳しくはお使いのヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのイコライザー機能がオフになっていることを確認してください。
- トランスミッターやヘッドホンを電子レンジや無線LANなどから離してください。
- トランスミッターにヘッドホンを近づけてください。トランスミッターとヘッドホンとの間に障害物がある場合は、移動させてください。
- トランスミッターは、ラジオ・チューナーなどの機器から離してお使いください。これらの機器の近くでトランスミッターを使うと、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。
- 他の無線機器（テレビ、サウンドバーなど）への影響がある場合は、トランスミッターの位置を動かしてください（例えば左に置いて影響がある場合は、右や中央に置いてみる、など）。

関連項目

- [トランスミッターとテレビを接続する](#)
- [トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する](#)
- [ヘッドホン*でテレビの音を聞く](#)
- [トランスミッターのランプ表示](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

ペアリング（機器登録）できない

- 接続対応ヘッドホンは360立体音響対応のヘッドホンのみです。
 - トランスミッターとBLUETOOTH搭載ヘッドホンの距離を1 m以内に近づけてください。
 - トランスミッターとヘッドホンの電源が入っていてペアリングモードになっていることを確認してください。
 - トランスミッターのランプ（青）が2回ずつ点滅していなかったら、**✳**（BLUETOOTH）ボタンを約5秒間押し続けてください。
ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。
-

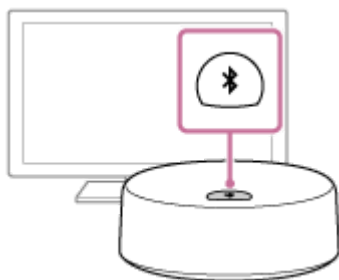
関連項目

- [トランスミッターとBLUETOOTH®搭載ヘッドホン*を接続する](#)
- [トランスミッターのランプ表示](#)
- [トランスミッターを初期化する](#)

ワイヤレストランスミッター
WLA-NS7

トランスミッターを初期化する

トランスミッターが正常に動作しない場合は、初期化してトランスミッターを工場出荷時の設定に戻します。
トランスミッターがテレビまたは電源コンセントに接続されている状態で、ランプ（青）が4回点滅するまで **✳**（BLUETOOTH）ボタンを約10秒間押し続けます。



トランスミッターが初期化され、すべてのBLUETOOTH機器とのペアリング（機器登録）情報が削除されます。

関連項目

- トランスミッターとBLUETOOTH[®]搭載ヘッドホン*を接続する